

## 高円宮杯 JFAU-15 リーグ 2020 東海 実施要項 (2020 年 7 月 5 日改訂案)

- 1 目的 (一社) 東海サッカー協会は、日本サッカー界の将来を担う 3 種年代 (U-15) の選手たちのより一層のサッカー技術の向上と健全な心身の育成を図ることを目的とする。さらにレベルが拮抗したリーグ戦を M-T-M メソッドに基づき、長期間を通して行う。
- 2 主催 (一社) 東海サッカー協会・(一社) 東海サッカー協会 3 種委員会
- 3 主管 東海地域リーグ運営委員会
- 4 後援 モルテン
- 5 協力 愛知・静岡・三重・岐阜県 3 種委員会
- 6 日程 **2020 年 3 月 ～ 2020 年 1 1 月 (2020 年度)**  
**※ JFA からのリーグ開催可否判断の原理原則を踏まえて、東海 3 種委員会にて再開を決定する。**
- 7 会場 東海地域各会場
- 8 参加資格 (1) (公財) 日本サッカー協会に第 3 種加盟登録を完了しているチームとする。  
(2) 2005 年 4 月 2 日以降に生まれた選手であること。
- 9 参加チーム数

愛知	岐阜	三重	静岡	計
5	0	0	5	10
- 10 競技方法 (1) **ホーム or アウェイ / 9 試合**  
(2) 勝ち 3 点、引き分け 1 点、負け 0 点の勝ち点により順位を決定する。  
なお、勝ち点が同一の場合は以下の項目に従い順位を決定する。
  - ① 全試合のゴール・ディファレンス (総得点 - 総失点)
  - ② 全試合の総得点
  - ③ 当該チーム同士の対戦成績 (勝敗)
  - ④ ①～③の全項目について同一の場合は、抽選により決定する。  
(3) 試合時間：80 分 (前・後半 40 分)  
(4) ハーフタイムのインターバル：原則として 10 分 (前半終了から開始まで)  
(5) 延長戦は実施しない。
- 11 競技規則 (1) (公財) 日本サッカー協会「サッカー競技規則 2019/2020」による。  
(2) 各試合の選手は最大 18 名とし、試合ごとにエントリーできる。  
(3) ①交代に関しては、選手 18 名から最大 7 名の交代が認められる。(自由な交代ではない)  
②後半の交代回数を 3 回とする。(詳細については、19 その他(1)④参照)  
(4) 退場を命じられた選手は次の 1 試合に出場できず、それ以降の処置については、本大会規律・フェアプレー委員会において決定する。  
(5) 期間中に警告を 3 回受けた選手は、次の 1 試合に出場できない。  
(6) (4) 及び (5) の行為を繰り返した選手は、最低 2 試合の出場停止とする。  
(7) **チーム感染対策責任者を決めて、必ずメンバー表に明記すること。(2020 年度)**  
(8) **チーム感染対策責任者はチームの感染対策をしっかりと行うこと。(2020 年度)**  
(9) 試合開始 30 分前までに、メンバー表と選手証を本部へ提出する。  
(10) ベンチ入りできる人員は最大 12 名 (役員 5 名、選手 7 名) とする。

(11) アディショナルタイムの表示を実施する。

(12) 試合球は各チームへ配布されたボールを持ち寄る。

※未配布の場合は同等のボールを持ち寄る。(8月22日までには対応予定)

- 12 ユニフォーム (1) ユニフォーム(シャツ・ショーツ・ストッキング)については、正の他に副として、正と色彩が異なり判別しやすいユニフォームを各試合に必ず携行すること。また、チームのユニフォーム(ゴールキーパーのユニフォームを含む)のうちシャツの色彩は、審判員が通常着用する黒色と明確に判別し得るものでなければならない。  
(2) シャツの前面・背面に各試合で登録した選手番号を付けること。ショーツの選手番号については付けることが望ましい。番号は1~99番とする。  
(3) キャプテンマークは着けるほうが望ましい。
- 13 昇格・降格 ※昇格・降格は無しとする。(2020年度)
- 14 大会への出場権 (1) 1・2位は、高円宮杯(U-15)全国大会・東海第1・2代表枠を得る。  
3~10位は、高円宮杯(U-15)東海大会参加の資格を得る。  
高円宮杯(U-15)東海大会は、東海地域リーグから8チーム+各県代表2チームの計16チームで開催。上位2チームが高円宮杯全国大会出場資格を得る。  
※感染症の影響により、以下のように対応する。  
(2) クラブユースU15は、従来通りに参加する。その他の大会についてはBチームもしくは下部チームで参加してもよい。  
※クラブユースU15中止(2020年度)  
(3) 感染症の影響による変更について(2020年度)  
その時点での行政の最新の指示にしたがい、感染が確認された場合は、選手個人、チーム等の活動を停止する。  
しかし、原則として試合順等の組直し等を行い、大会を継続させるよう努める。  
11月1日までにすべての試合が消化できない場合は、すべてのチームが高円宮杯東海に参加して、上位4チームが全国大会に出場する。(準決・決勝は行わない。)  
この場合、東海の代表順位は抽選とする。  
高円宮杯東海大会の枠に入る暫定順位は、全チームが試合成立している数までの結果をもとに順位で決定する。  
上記以外の場合は、過去3年間のポイントで決定する。
- 15 表彰 優勝チーム以下第3位チームまで表彰する。
- 16 諸経費 参加費 8,000円 ※交通費については参加チームの負担とする。  
※残金を各チームに返金する。(2020年度)
- 17 傷害補償 大会中の負傷など事故があった場合は、応急処置のみ行う。参加チームは必ず傷害保険に加入すること。
- 18 運営組織 (1) 参加チームの中から運営本部を設置し、東海地域リーグ会場・審判など運営全般を統括する。  
(2) 本大会において、規律・フェアプレー委員会を組織し、委員長は東海3種委員長が務める。委員の人選については委員長に一任する。
- 19 その他 (1) ①2チーム以上参加しているチームは、トップチームの試合に出場したプレイヤーがセカンドチームへ選手登録、試合出場することは、登録変更期間以外は一切認めない。(登録変更を行えるのは、前期終了から後期開始までとする。)

※登録変更については、再開日の1週間前までに、エントリー表を各県の委員長に送信する。(2020年度)

②セカンドチーム登録選手のトップチームへの登録変更、試合出場については、特に制限を設けず随時可能とする。ただし、一度トップチームの試合に出場した選手の扱いは、前述のトップチーム登録選手の扱いとなる。

③GKについても①②と同様とするが、緊急事態(GKの日本代表活動への参加や複数のGKの故障の場合など)により、セカンドチーム以下のGKが各県第3種委員長の承認を得て、東海地域リーグへの出場が可能となり、登録変更期間以外であっても、セカンドチームの試合に戻ることを可能とすることもある。(※緊急事態を除いて、東海地域リーグに出場したGKについて、セカンドチームの所属するリーグへの出場は、登録変更期間以外は一切認めない。)

④後半の選手交代を3回までにする。

1回に複数人を交代することは可能。前半、ハーフタイム、クォータータイムでの交代は、後半の交代回数に含まれない。

※GKが負傷した場合は、この回数には含まれない。(2020年度)

(2) 実施要項に記載されていない事項については、東海サッカー協会3種委員長会において協議し決定する。

(3) 感染症対策について(2020年度)

別紙「公式戦における新型コロナウイルス感染拡大防止に関する対策(参加チーム向け・会場担当者向け)等を順守して、選手・保護者・指導者・大会運営者が協力して感染症対策に努める。

その上でできる限り試合環境の確保を目指す。

大会開始の2週間前(8月8日を目途)に、各県の委員長から感染症対策について最新の情報について確認する。